

環境・安全シンポジウム 2010
大学・高専における化学実験室の現状と課題
— 法人化後の実験施設と安全管理 —

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

日 時 平成 22 年 3 月 28 日 (日) 13 時 30 分～17 時

会 場 日本化学会第 90 春季年会 (2010) 近畿大学本部キャンパス

H6/SB 会場 (B 館 401 教室) *当初の 204 教室から変更になりました。

<http://www.kindai.ac.jp/about/access/honbu.html>

趣 旨 国立大学等が法人化してから 6 年が経過し、大学や高専の安全衛生管理体制も法人化前に比べて大きく様変わりした。研究室レベルにおいても、実験設備の定期点検、産業医巡視や自主職場点検、安全講習の受講義務など、労働安全衛生法に基づく安全管理が浸透しつつあるが、その一方で、研究の多様化・高度化に対応した実験施設のあり方や、大学間での取り組み状況の差違など、実験研究現場の環境安全について、検討すべき課題はまだ多く残されている。本シンポジウムでは、大学や高専の化学実験室の現状について具体例をご紹介いただき、そこから浮かび上がってくる実験施設や安全管理の問題点を抽出し、課題解決に向けた方策を考える。

内 容

13:30-13:45 開会挨拶

(環境・安全推進委員会 委員長) 山 辺 正 顕

13:45-14:15 大学における化学系実験の安全向上：設備、管理、教育

(九州大学先導物質化学研究所) 友 岡 克 彦

14:15-14:45 大学の実験現場における安全管理と安全教育—ここはウィーンか小田原か—

(大阪大学安全衛生管理部) 富 田 賢 吾

14:55-15:25 富山高専の環境安全に対する取り組みと悩み

(富山工業高等専門学校) 伊 藤 通 子

15:25-15:55 安全衛生に配慮した大学実験施設の整備

(文部科学省大臣官房文教施設企画部) 齋 藤 福 栄

16:00-17:00 パネルディスカッション

(総合司会：事業小委員会 委員長) 大 島 義 人

参加費 無料。講演資料代：1,000 円 (当日徴収)。

定 員 100 名

参加申込方法 「3/28 環境・安全シンポジウム出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail を明記のうえ、e-mail (matsubara@chemistry.or.jp) にてお申込みください。なお、当日は 13 時から受付を行います。

申込先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 日本化学会企画部 担当：松原・保倉
電話 03-3292-6163、FAX 03-3292-6318、E-mail: matsubara@chemistry.or.jp